

人口の減少は土幌町のまちづくりに様々な影響を与えていますが、土幌町と関わりを持つ人は、日本はもとより世界中に広がっています。住民はもちろん、町外の人も土幌のまちづくりに関心を寄せ、関わりを深めてもらうことで、住み良さ、過ごしやすさをより感じることができる農村ユートピアを目指します。

…………… **取組の方向(6つの基本目標)** ……………

1 教育・文化・スポーツ
こどもの笑顔が広がり、みんなで学びやスポーツを楽しめるまち
 誰一人取り残さず、こどもたちの健やかな成長を社会全体で後押しする「こどもまんなか社会」の実現に向けて、切れ目のない支援、こどもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを進める学校教育を行います。また、年代を問わず、誰もが生涯を通じて、学習やスポーツ、文化的な活動などを本町で行うことができるまちづくりを進めます。

2 保健・福祉・医療
心身の健康づくりと支え合いで、安心して暮らせるまち
 健康寿命の延伸を目指し、自らの健康を守る意識を持ち、行動をするよう促進するとともに、誰もが健康づくりに取り組める環境づくりを進めます。また、支え合いや見守りが地域で広がるよう促しつつ、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできるまちを目指し、「福祉村」を拠点に、健康管理から福祉サービスの提供までを総合的にを行います。

3 環境保全
豊かな自然を守り、持続可能な環境へと育てるまち
 豊かな自然環境や美しい景観を守りながら、持続可能な循環型社会を目指し、温室効果ガス排出量の実質ゼロ（ゼロカーボン）に向けた取組や、環境への配慮を取り入れた「環境マネジメント」によるまちづくりを推進します。また、ごみの回収や処分、公園や墓地等の管理を適切に行い、環境を維持します。

4 生活環境
安全に住み続けられる生活環境があるまち
 持続可能なまちづくりを視点に持ち、土地利用や基盤づくりなど、将来にわたって、住み良さや利便さ、快適さを感じられるまちづくりを進めます。また、全国各地で多発している自然災害などへの備えを強化するとともに、各世代に応じた交通安全、防犯に対する意識の啓発、未然に防ぐ環境づくりなどを進め、災害や交通事故、犯罪などから生命と財産を守ります。

5 産業
働く場があり、活力やにぎわいが感じられるまち
 農村ユートピアの創造をスローガンとした取組を次代に継承するため、農業を軸に様々な規模や業種の事業活動が行われる産業基盤づくり、一人ひとりが希望する仕事が見つかり仕事にチャレンジできるまちづくりを進めます。また、新たな特産品や観光などを通して、町外に広く土幌町の魅力を発信し、交流人口の拡大や関係人口の創出に努めます。

6 協働・行財政
持続可能なまちづくりに向けて、みんなで考え、行動するまち
 人口減少社会でも地域活動が継続されるよう支援し、協働や男女共同参画など連携・協力に必要な考え方を浸透させながら、多様な世代や主体が関わり、活躍できるまちづくりを進めます。また、本町と交流、接点のある人たちが、関係人口の創出や移住につながるよう、連携して取り組みます。行財政運営では、デジタルなど新技術を活用し業務の効率化を図りながら、目まぐるしく変化する行政課題に柔軟に対応し、健全な財政運営に努めます。

重点施策【まち・ひと・しごと創生総合戦略】

1 地域産業の活性化により、多様な雇用を創出する

- 地域産業の生産性向上
- 担い手の確保・人材育成
- 地域産業の拡大、多様な事業活動と環境整備を支援

- ◇農業後継者、新規就農者等の支援、労働力不足の解消に努め、農業分野で働く人々を増やします。
- ◇起業や事業の後継、継承の支援等を通じて、商工業で働く場を広げます。
- ◇町立土幌高校、関係機関等と連携し、農業など既存の産業を軸としながら、新たな事業の発展、展開を促し、働く場の数や種類を増やします。
- ◇ワークスタイルの多様化を踏まえ、多様な働き方ができる環境づくりを進めます。

2 人の流れを増やし、住環境を充実させ、移住・定住を促す

- 人とつながる機会を増やし、関係人口創出、移住促進へ
- 住んでみたい、住み続けたい、多様な住環境づくり

- ◇「ピア21しほろ」や「しほろ温泉プラザ緑風」など観光・交流拠点や観光資源の魅力を高め情報発信し、国内外からの来訪者(交流人口、関係人口)を増やします。
- ◇移住の検討に必要な情報や相談相手を見つけやすくするとともに、多様な居住ニーズを踏まえた住環境づくり、移住につながりやすくします。
- ◇ふるさと納税や SNS など、来訪以外でつながる人々を増やし、地域活性化や来訪、移住などにつなげていきます。

3 結婚・出産・子育てへの支援を充実させる

- 結婚や出産を望む人を応援
- 土幌で子どもを育てたい、教育を受けたい人を応援

- ◇転出が多い若い世代、女性の定住ニーズを踏まえ、土幌町での暮らしや過ごし方に関心を持ち、地域との関わりを深めてもらえるよう取組を進めます。
- ◇子どもを産みたい人、多くの子どもを産みたい人など、それぞれの希望がかなうよう支援します。
- ◇子育てや教育に関する環境づくりとともに、子育てに掛かる負担の軽減に努め、本町で子どもを育てる魅力を高め、子育て世帯の定住促進と町外からの移住を促します。

4 安心して住み続けることができる地域をつくる

- 土幌に住み続けられる魅力的なまちづくり
- 質の高い防災機能をもつ災害に強いまちづくり

- ◇デジタルや新技術を積極的に活用し、医療・福祉環境の向上、交通手段の維持など、高齢になっても本町で安心して生活できる環境づくりを進めます。
- ◇多様な世代が活躍できる地域づくりを促進し、本町で生きがいを感じながら生活できる環境を充実させます。
- ◇関心や必要性が高まる省エネルギーや事前防災の視点に立った取組を地域ぐるみで進めます。

誰もが関わりたくなる農村ユートピアしほろ

土幌町 第7期 町づくり 総合計画 概要版

2026 ▶ 2035



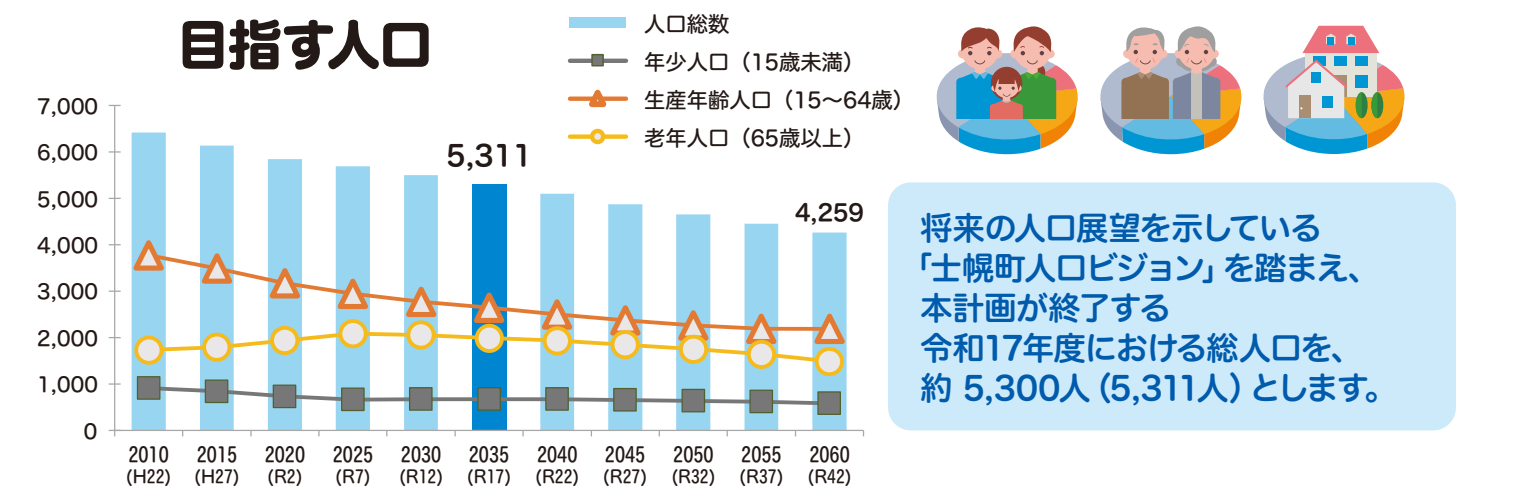
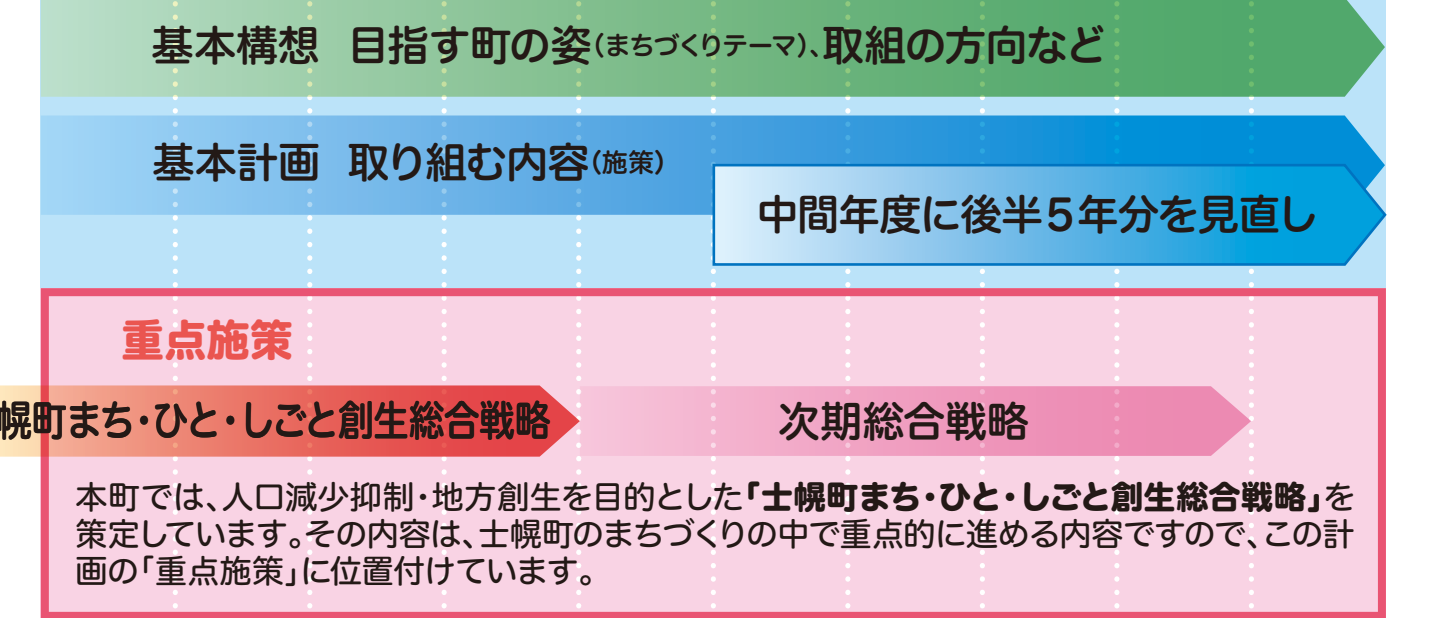
編集・発行 / 土幌町役場 地域戦略課
 〒080-1292 北海道河東郡土幌町字土幌225番地
 TEL 01564-5-5212 FAX 01564-5-4304
 HP <https://www.shihoro.jp/>

目指す町の姿 (まちづくりテーマ) **誰もが関わりたくなる 農村ユートピアしほろ**

土幌町では、まちづくり全体に関わる「町づくり計画」を策定し、まちづくりを進めています。昭和30年度に最初の計画をつくり、おおむね10年ごとに計画を見直しながらいままで続いており、このたび、令和8年度からスタートする第7期の「町づくり計画」を策定しました。



令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	年度
-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	----



取り組む内容【基本計画の概要】

教育・文化・スポーツ 1 こどもの笑顔が広がり、みんなで学びやスポーツを楽しめるまち

子ども・子育て支援

- 子ども家庭センター～よすが～を拠点とした、子ども・若者の声や保護者の悩みを聴く機会の創出
- 子ども・若者、子育て当事者への支援の充実
- 認定こども園の運営、小学校への円滑な接続も踏まえた幼児教育
- 子どもが地域で安心して生活できる環境の整備、安全に過ごせる居場所の確保

小学校、中学校

- 学校の施設・設備、スクールバスなどの改修・更新
- 通学路を含めた児童生徒の安全管理
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 社会の変化に対応できる教育
- 社会性や豊かな人間性を育む道德教育の推進
- いじめや不登校の未然防止・早期対応
- 障がいのある児童生徒の個々に応じた教育
- インクルーシブ教育の充実

高等学校、修学支援

- 土幌高校における魅力ある農業教育、地域に根ざした活動による入学者の確保
- 大学進学支援など家庭の経済状況に関わらず、誰もが学べる修学支援

生涯学習、社会教育

- 生涯学習の内容や実施方法の改善
- 地域リーダーの発掘・養成
- 情報提供の充実
- 対象に応じた社会教育の推進
- 学習施設の有効活用、適切な維持管理

スポーツ、文化、芸術

- スポーツ指導など持続可能な推進体制づくり
- スポーツや体力づくりへの参加促進
- スポーツ関連施設の整備や維持管理、学校体育施設の開放
- 芸術文化団体の活動支援
- 芸術文化を鑑賞する機会の提供
- 郷土芸能の継承と本町の歴史を継承する施設や文化財の保存



土幌町認定こども園なかよし



土幌町子ども発達相談センター

保健・福祉・医療 2 心身の健康づくりと支え合いで、安心して暮らせるまち

保健、健康づくり、医療

- 健康に関する相談窓口の充実
- 生活習慣病の予防
- 受診の促進や健診後の指導の充実
- 健康づくりにつながる運動の普及
- 感染症流行の予防
- 妊娠前から子育て期まで母子ともに健やかに過ごせるための支援
- 国保病院の医療従事者の確保
- 安心で信頼される医療の提供、持続可能な経営
- 「福祉村」における医療機能の充実

地域福祉

- 地域福祉への理解促進、地域福祉体制の充実など住み慣れた地域で誰もが快適に生活し活動できる環境づくり
- 悩みや問題を一人で抱え込まないための取組など、こころの健康づくり
- 判断能力が十分でない高齢者や障がい者の権利を擁護、虐待や暴力などの防止

高齢者福祉、障がい者(児)福祉

- 介護予防につながる取組
- 孤立や閉じこもりを 방지、健康の維持・増進につながる活動の支援や場づくり
- 高齢者の生きがい・自活動の支援
- 介護に関わる人材の確保
- 介護サービスに関する相談支援や情報提供
- 高齢になっても安心して住める入居施設や住宅の確保
- 障がい者(児)へのわかりやすい情報提供、相談支援、社会参加や就労の支援

低所得者福祉、社会保障

- 生活保護制度の適切な措置と自立への支援
- 生活困窮者に対する支援
- 国民健康保険、高齢者の医療保険、介護保険の安定運営
- 年金相談体制の充実

環境保全 3 豊かな自然を守り、持続可能な環境へと育てるまち

環境、景観

- 自然環境を守る活動支援や環境教育などを通じた自然環境に対する住民意識の向上
- ヒグマによる被害防止
- 公害に対する住民意識の高揚・発生防止、景観向上に向けた取組

ゼロカーボン

- 地球温暖化対策を幅広く進める体制づくり、住民意識の普及
- 再生可能エネルギーの導入促進、エネルギーの効率的な利用

ごみ、リサイクル

- (令和10年度より)広域化による安全かつ安定的なごみ処理
- ごみの分別徹底による排出量削減とリサイクル率向上
- 生ごみの減量化と再資源化の促進
- 不法投棄の防止に向けた取組

公園、火葬場、墓地

- 公園の適正な配置、誰もが利用しやすい魅力的な公園づくり
- 遊具も含めた適正管理、公園利用者のマナー向上の啓蒙
- 火葬場の維持管理、墓地の適正管理

生活環境 4 安全に住み続けられる生活環境があるまち

土地利用、市街地、住宅、宅地

- 森林の多面的な機能、環境保全、商工業の振興や地域の活性化を踏まえた土地利用
- 団地の販売と新たな宅地の分譲
- 民間による住宅整備の促進
- 公営住宅の建替
- 空き家の有効活用の促進、適正な管理や利活用・除却

道路

- 町内を通る国道と道道を安全に利用するために必要な整備の要請
- 利用状況を踏まえた町道・農道の整備・維持補修、冬に安全に利用できる道路環境づくり
- 効率的な森林施業や森林の適正な管理運営に必要な林道の整備

水道、下水道、浄化槽

- 老朽化した各簡易水道施設や管路の更新・耐震化
- 下水道や農業集落排水の点検や更新、効率的な整備・管理
- 下水道未整備地域での合併処理浄化槽の設置促進
- し尿及び浄化槽汚泥の適切な処理の促進

公共交通

- 近隣自治体や路線バスの民間事業者と連携した路線バス路線の確保
- コミュニティバスやハイヤーチケットの助成、デマンド交通など交通弱者に対する移動支援

消防、救急

- 消防体制の整備、業務の効率化
- 消防施設・設備の整備、更新
- 地域防災の中核を担う消防団の充実強化に向けた魅力ある消防団づくり
- 救急体制の充実や機能強化
- 救命講習を通じた救命率の向上
- 災害対応力の向上
- 住民の火災予防意識の高揚
- 住宅用火災警報器の普及促進

防災、治山治水、交通安全、防犯

- 減災・防災に向けた町内体制の強化
- 住民の防災意識の向上・知識の普及
- 災害の未然防止につながる河川改修、荒廃山地や急傾斜地などの保全・管理
- 交通事故や犯罪を防ぐ環境整備
- 交通安全や防犯への意識向上につながる取組

産業 5 働く場があり、活かやにぎわいが感じられるまち

農林業

- 環境負荷低減
- 生産性と品質の向上
- 農業経営の改善や安定に向けた取組
- 担い手への農地の集積・集約
- 農業生産基盤の整備
- 意欲と能力のある担い手の育成・確保
- 労働力不足の解消に向けた取組
- 土幌産の食の魅力発信による農業・農村への理解、地域の活性化の促進
- 町有林・民有林の造林・保育による森林面積の維持
- 森林の多面的機能の発揮
- 森林や木材への理解やカラマツ材の利用の促進
- 持続可能な森林経営

商工業

- 地元購買力の向上につながる商店街活動や新規創業の支援
- 商店街の空洞化解消
- 憩いや交流の場にもなる商店街づくり
- 既存商工者の経営の改善や安定
- 商工業を担う人材育成につながる取組

産業創出

- 町内に新たな事業所や企業、サービスなどの増加に向けた誘致や支援
- 農畜産物加工研修施設(しほろキッチン)を拠点とした特産品の開発
- 農商工連携による6次産業化の促進
- まちづくり会社や企業、個人など多様な事業活動の支援

観光

- 観光関連施設の魅力の向上
- 新たな観光資源の発掘
- 地域資源を生かした観光の推進
- 観光情報の積極的な発信
- 外国人来訪者への情報提供の充実

勤労者福祉、消費者保護

- 雇用情報の提供
- 季節労働者や失業者の就業
- 福利厚生充実につながる取組
- 消費生活上のトラブルに巻き込まれない意識や知識の向上、相談支援の強化、被害を未然に防ぐ取組
- 消費者としての責任ある行動を促す消費者教育の推進

協働・行財政 6 持続可能なまちづくりに向けて、みんなで考え、行動するまち

コミュニティ、協働のまちづくり、男女共同参画

- 望ましい駐在区規模の検討
- 協働のまちづくりを通じた住民の取組の促進
- 町内会の加入促進
- 地域おこし協力隊、まちづくりリーダーの発掘と養成
- まちづくり活動の中心となるグループの育成
- 性差への偏見・固定観念の解消
- 男女相互の人権を尊重する意識づくり
- 性別に起因する暴力や犯罪、ハラスメントの根絶、各分野への男女共同参画の促進

交流、関係人口、移住定住

- 美濃市をはじめ土幌町とゆかりのある自治体や団体との交流推進と交流人口の拡大促進
- 土幌町に関わる人たちの増加と関係人口の創出促進
- ふるさと納税による関係人口の拡大促進
- 土幌町の魅力発信と移住の呼びかけ、交流人口や関係人口に向けた移住の促進
- 移住後も安心して住み続けられるための包括的な支援

広報、広聴、情報通信

- 見やすい、読みやすい、わかりやすい広報誌づくり
- インターネット上での広報の充実
- 広聴手段の周知
- インターネット等を活用した意見収集
- 住民の声の把握と適切な対応
- 情報通信環境の整備
- 多くの住民がインターネットから情報を得られるための知識の普及

行財政運営、財政運営

- 限られた人数で効果を発揮しやすい行政運営体制づくり
- 書かない窓口、LINE による各種申請などデジタルの活用による窓口サービスの向上
- 中長期的な視点に立った効率的かつ計画的な財政運営
- 税率の向上
- 税負担の公平性確保
- 消防、ごみ処理、介護認定など十勝管内の自治体と連携し行う広域行政の推進
- 共通の課題やテーマを持つ他の自治体や団体等と連携した広域的な取組